

令和8年度 しまねの文化芸術体験事業 募集中

＜文化芸術次世代育成支援事業＞

集中力、協力する力、
イメージする力をつけてほしい

普段の学校生活では分からない、
子どもたちの隠れた可能性を
発見！

演劇



出雲歌舞伎



ものづくりって
楽しい

工芸(七宝)



各教科・総合的な学習の時間、特別活動などの授業や学校行事で「地元島根」の「本物」の文化芸術に触れる、芸術家から直接学ぶことができる事業です。

体験した学校からの声

- ・アイコンタクトやジェスチャーを必要とする場面があり、必然的に多くの友達と交流すること、お互いを認め合う雰囲気づくりにつながった。
- ・成果発表では保護者や地域の人々から喜ばれ、子どもたちが自己肯定感を得ることができた。
- ・普段教室の中で見ることのできない児童の意外な一面や人間関係を見ることができ、児童理解が深まった。

申込期限 令和8年2月27日(金)

※詳しくは中面をご覧ください。

申込カンタン



学校の費用負担なし

島根県環境生活部文化国際課

○提供メニュー（令和8年度 しまねの文化芸術体験事業）

実施形態	No.	ジャンル(主な内容)	対象(者)	地域・会場	時期・期間	ワークショップ
		団体名	小…小学校、中…中学校 高…高等学校、特支…特別支援学校			
学校授業又は学校行事	1	演劇 (表現・コミュニケーションワークショップ)	小・中・高・特支 (1回につき20名～30名まで) (1学年のクラス数により、1日に数回行うこともできる)	【地域】 全県域 【会場】 ・椅子も机もない広めの部屋(音楽室・多目的室・会議室等) ・大きな声が出ることもあるため、他の授業中の教室の隣は不向き ・体育館でも可能だが、人数によっては広すぎて集中できない状況となる恐れがある	・6月以降 (基本的には学校の都合を優先する) ・1回でなく、複数回の実施が望ましい。	児童・生徒に向け、人間関係づくりに役立つ演劇的要素を含んだ参加型のワークショップ(授業)を1～3回行う。
	2	演劇 (表現ワークショップ)	小・中・高・特支	【地域】 全県域 【会場】 児童・生徒がある程度、体を動かせる多目的室や体育館などが望ましい	・6月以降 ・1回でなく、複数回の実施が望ましい	演劇表現ワークショップを1～3回程度行う。
	3	和太鼓 (ワークショップと成果発表)	小・中・高・特支	【地域】 ・東部地域(指導者が通える範囲内) ・西部地域(指導者が通える範囲内) ※基本的に地元の団体から指導者を派遣する	・6月以降	・和太鼓体験 ・文化祭や学習発表会での成果発表をめざした演奏指導。
	4	邦楽 (箏、三絃、尺八) (ワークショップと成果発表)	小・中・高・特支 ※鑑賞、楽器体験は全学年可能。演奏指導は小学校3年生以上。 (1回1学級単位)	【地域】 ・東部地域 ・西部地域(大田市まで可能)	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校と相談)	・邦楽器演奏を聴き、楽器に触れて演奏に挑戦する。 ・箏で簡単な旋律の演奏ができるよう指導する。 ・尺八は音が出るよう挑戦させる。
	5	邦楽 (箏、三絃、尺八) (ワークショップと成果発表)	小・中・高 ※鑑賞・楽器体験は全学年可能。 演奏指導は小学校3年生以上。 (1回1学級単位)	【地域】 ・西部地域 ※その他の地域の要望があれば、できる限り対応	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校の要望に応じて対応)	・邦楽器演奏を聴き、楽器に触れて演奏に挑戦する。 ・学校の希望があれば3～4回訪問し、小曲が演奏できるように指導
	6	邦楽 (箏、尺八) (ワークショップと成果発表)	小・中・高・特支 ※鑑賞・楽器体験は全学年可能。演奏指導は小学校4年生以上。 (1回1学級単位)	【地域】 ・東部地域 ・西部地域(大田市のみ)	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校と相談)	・邦楽器演奏を聴き、箏・尺八に触れて音を出すことに挑戦する。 ・箏は「さくらさくら」の旋律が演奏できるよう指導、尺八は音が出るよう挑戦させる。
	7	邦楽 (箏、三絃) (ワークショップと成果発表)	小・中・高・特支 ※鑑賞は全学年可能。演奏指導は小学校3年生以上。 (1回1学級単位) ※児童・生徒の状況により鑑賞・楽器体験になる場合もある。	【地域】 ・西部地域(浜田市、益田市、津和野町、邑南町他)	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校と相談)	・邦楽器演奏を聴き、楽器に触れて音を出すことに挑戦する。 ・箏で簡単な曲の演奏ができるよう指導する。
	8	邦楽 (箏、三絃、尺八) (ワークショップと成果発表)	小・中・高・特支 ※鑑賞は全学年可能。演奏指導は小学校4年生以上。 (いずれも1回1学級単位)	【地域】 ・東部地域(雲南市、奥出雲町、飯南町)	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校と相談)	・邦楽器演奏を聴き、楽器に触れて音を出すことに挑戦する ・学校の希望があれば2回程度訪問し、小曲が演奏できるように指導
	9	邦楽 (箏、三絃、尺八) (ワークショップと成果発表)	小・中 ※鑑賞・楽器体験は全学年可能。演奏指導は小学校4年生以上が望ましい (いずれも1回1学級単位)	【地域】 ・東部地域	・6月以降 ・平日可能 (実施日は学校と相談)	・邦楽器演奏を聴き、楽器に触れて音を出すことに挑戦する。

公演 成果発表	効果・目的	備考
	①ゲームのルールを守ることによってクラスの一体感が持てることを実感する。 ②日頃あまり接していないクラスメイトと交流し協力することができる。 ③自分の意見を発表し、聞いてもらえることが楽しいとわかる。 ④友だちのいいところを見つけることができ、信頼感が生まれる。 ⑤自分の存在を友だちが認めてくれることで自信をつけることができる。 ⑥「表現する力」「コミュニケーションできる力」が大事だと気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回より、複数回実施が効果的（1回のみの実施ではお互いの様子伺いになってしまう）。 ・事前に打ち合わせを行い、児童・生徒の様子を聞いておく。 ・事後、15分から20分程度の振り返りを担任と行う。 ・1回だけ実施の場合90分、2回以上で実施可能であれば1回60分でも可能。
	(実施校からの声) ・普段教室の中で見ることでできない児童の意外な一面や人間関係について活動を通して見ることができ、児童理解が深まった。	ワークショップの詳細についてはお問合せください。 問合せ先：0852-54-2400 (特定非営利法人あしづえ 担当：有田)
	自分の想いを自然に表現する力や、人に伝わりやすい表現方法を演劇の手法を用いて実体験し、コミュニケーションに必要なことを学ぶ機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回ではなく、複数回実施が望ましい。先生方と事後の振り返りを行いたい。 ・人数、学年により内容の調整が必要。事前に学校側の希望や児童・生徒の様子など実施内容について詳細な打ち合わせを行いたい。
	(実施校からの声) ・自分の思いや考えをどのように伝えるのか、相手の思いや考えを受け入れる大切さ等、日々のコミュニケーションに活かせることを学べた。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの成果発表。 ・県内太鼓団体の模範演奏。 	太鼓の演奏を実際に体験したり鑑賞することを通じて、地域の伝統文化の理解促進と次世代への継承のきっかけとする。 (実施校からの声) ・リズムや体の使い方など細かいところまで丁寧に指導していただいた。成果発表の際は保護者や地域の方々から喜ばれ、自己肯定感を得ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限はないが、楽器(太鼓)の数が限られており、児童・生徒全員に用意できない場合があるので事前に協議が必要。 ・成果発表を伴う継続指導の場合は、学校の担当の先生のフォロー体制を要望。
(公演) ・演奏の鑑賞は人数制限なし (成果発表) ・学校の希望があれば、校内でワークショップの成果発表を行う	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・学校では準備の難しい邦楽器を用意していただき、実際に触れることができたので、邦楽器の良さやおもしろさをより一層感じる事ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(鑑賞・楽器体験)のみは1回で可能。 ・鑑賞・演奏指導の両方で2校時以上が望ましい。(発表会は別に時間が必要) ・当方が用意できる数以上の筈が必要となる場合は、所有する他の学校から借用の段取りを依頼する可能性あり(運搬料、借用料は当方で負担)。
(公演) ・演奏の鑑賞は人数制限なし (発表) ・学校の希望があれば、校内でワークショップの成果発表を行う	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・小学校で扱う楽器(リコーダーや鍵盤ハーモニカ等)を苦手としている子でも意欲的に取り組んでいた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップのみは1回で可能。成果発表する場合のレッスンは3～4回(発表会は別に時間が必要)。 ・必要な楽器は所有する学校から借用する。不足する場合は当方で対応する(運搬料、借用料は当方で負担)。
(発表) ・学校の希望があれば、校内でワークショップの成果発表を行う。	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・日常の音楽授業では味わえない体験をすることで、大変興味を持って取り組み、難しさの中でも集中して演奏を楽しむ児童が多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップのみは1回で可能。成果発表する場合のレッスンは3～4回(発表会は別に時間が必要)。 ・当方が用意できる数以上の筈が必要となる場合は、所有する他の学校から借用の段取りを依頼する可能性あり(運搬料、借用料は当方で負担)。
(発表) ・学校の希望があれば、校内でワークショップの成果発表を行う。	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・実技演習では弾き方などを丁寧に指導していただいた。最後に尺八や十七弦と合奏をし、達成感を味わうことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(鑑賞・楽器体験)のみは1回で可能。 ・鑑賞・演奏指導の両方で2校時以上が望ましい。(発表会は別に時間が必要) ・学校に楽器がない場合は当方で準備する。数が足りない場合は、他校から借用の段取りを依頼する可能性あり(運搬・借用料は当方で負担)。
(公演) ・演奏の鑑賞は人数制限なし (発表) ・学校の希望があれば、校内でワークショップの成果発表を行う	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・生徒に合わせて指導していただいたことで、落ち着いた取り組むことができた。休憩時間でも練習に取り組む自主性が見られ、大変充実した時間になった。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞のみは1回で可能。 ・箏の演奏指導は2校時以上が望ましい。 ・鑑賞・演奏指導の両方で2校時以上が望ましい。 ・箏は当方で準備する。 ・箏の搬入・搬出にあたってお手伝いいただきたい。
(発表) ・学校の希望があれば校内でワークショップの成果発表を行う。	身近に触れる機会の少ない邦楽器に触れて、演奏する楽しさを体験すると共に、邦楽器・伝統音楽に対する関心、理解を深める。 (実施校からの声) ・演奏体験をしたことで、他教科の学習でも日本の伝統文化等、興味関心を広げることにつながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(鑑賞・楽器体験)のみは1回で可能。 ・演奏指導は、最低2校時は必要(発表会は別に時間が必要)。

実施形態	No.	ジャンル(主な内容)	対象(者)	地域・会場	時期・期間	ワークショップ
		団体名	小…小学校、中…中学校 高…高等学校、特支…特別支援学校			
学校授業又は学校行事	10	美術 〈工芸：染色〉 島根工芸連盟	小・中・高・特支 (1回につき10人以下)	【地域】 全県域 【会場】 調理室(ガス、水道を使用)	・6月以降 ・平日	・植物で染色、糸紡ぎ、ミニ織機で織る体験
	11	美術 〈工芸：七宝〉 島根工芸連盟	小・中 (1回につき20人程度)	【地域】 全県域 【会場】 電気の使用できる会場 (電気炉使用のため)	・6月以降 ・平日(1回2～3時間)	・金属(銅・銀)にガラス状の釉薬を焼き付ける。フリットや銀箔をのせ焼く技法などを体験する。
	12	オーケストラ (ワークショップと合同演奏) 島根県オーケストラ 連絡協議会 【山陰フィルハーモニー管弦楽団】	小・中・特支 ※楽器体験は小学校3年生以上	【地域】 ・全県域 【会場】 ・楽器体験…音楽室でも可能(冷暖房があれば時期は問わない) ・体験型公演…学校の体育館でよいが、6月上旬、9月下旬～11月上旬を希望(冷暖房不要な時期)	・楽器体験…6月以降 ・体験型公演…6月上旬、9月下旬～11月上旬 ・平日可能	・弦楽器の演奏体験。楽器の紹介。オーケストラの指揮者体験。手拍子や足踏みでの演奏参加等。
	13	伝統芸能・出雲歌舞伎 (実演・鑑賞指導と成果発表) 島根県地歌舞伎連合会	小・中・高・特支 (5～26名まで)	【地域】 ・東部地域 (出雲市佐田町から指導者が稽古に通える程度の地域が望ましい) 【会場】 ワークショップ：ホール、体育館、広い教室 発表会：文化ホール、体育館等舞台のある施設	・6月以降 ・指導者の都合による日程調整が必要 ・発表会は土、日・祝日が望ましい ・1日1時間45分程度(1校時45分×2校時+中途10分程度休憩)の稽古を7～12日間程度行う ※1日だけの体験教室も可能	出雲歌舞伎の歴史を学び、小中学生は「青砥稿花紅彩画(通称白浪五人男)」を、高校生は「御目見得だんまり」などを演じるため、7～12回の稽古を重ねる。 ※出雲歌舞伎の解説、映像鑑賞、化粧、着付けなど2～3時間程度、1日だけの体験教室も可能

地域(学校会場)	14	合唱 (講習と成果発表) 島根県合唱連盟	小・中・高・特支	【地域】 ・西部地域(大田市以西、石見圏域) 【会場】 ピアノのある会場	・講習会は11～12月にかけて4回程度 ・成果発表1回 ・土日、祝日を予定	専門の講師による講習(合唱ワークショップ)を行い、音楽表現の基礎・基本を学ぶ。
	15	吹奏楽 (楽器講習会と成果発表) 島根県吹奏楽連盟	小学生(3年生以上) (約160名)	【地域】 松江市内 【会場】 ・楽器毎の練習会場数や広い合奏室が確保できる小学校。 ・演奏会はプラバホールで開催予定。	・講習会は2回(6月、10月頃(仮)) ・演奏会は11月頃 ・休日開催	楽器奏法や合奏の講習会を2回程度行う。
参加者募集	16	弦楽器 (ワークショップと合同演奏) 島根県オーケストラ 連絡協議会 【しまねシンフォネット 弦楽キャンプ実行委員会】	中学生(弦楽器を演奏する中学生を中心に計100名程度を予定)	【地域】 東部地域 【会場】 各パートに別れて練習するため、5部屋以上が確保できるところ	・ワークショップ1…5月～10月に3回の指導と合同練習会(公開)1回 ・ワークショップ2…11月～3月に3回の指導と合同練習会1回 ・土日開催	弦楽ワークショップ 基礎指導と、合同練習会(県内講師による指導)
	17	美術 (彫刻) (粘土造形の実技講習) 島根彫刻会	高校生(40名程度)	【会場】 ①ワークショップ 東部地域 ②作品展示 県展(松江：県立美術館)	①ワークショップ 8月 ②作品展示 11月	静物や人物をモデルにして粘土で成形する実技講習会を開講し、彫刻制作の実体験をする。 (作品は乾燥後、後日引き渡す。)
	18	舞台芸術 (演技、脚本、演出、舞台効果等講習会) 島根県高等学校文化連盟	中学生、高校生、特支	【会場】 松江市アルバホールでの開催を予定	・平日開催 ・8月上旬	舞台芸術に関する講習会を開催し、舞台技術の向上や演劇への興味、関心を高めるきっかけとする。

公演 成果発表	効果・目的	備考
	<p>ものを作る楽しさを体験することにより工芸に興味をもってもらい、次世代へ伝承していく</p> <p>(実施校からの声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の言動から、ものづくりの素晴らしさを実感するだけでなく、一つのことにはたむきに打ち込むことが日々の生活の充実につながることに気づくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生方にお手伝いいただきたい。
	七宝焼を体験をすることにより工芸に興味をもってもらい、次世代へ伝承していく	
(公演) ・全校対象のミニ・オーケストラの演奏会。	<p>小中学生に滅多に触れることができない弦楽器の演奏体験や一緒に歌う等により全員が演奏に参加するといった体験型の演奏会を提供する。この体験によりクラシック音楽及びオーケストラに親しみをもちてもらい、将来の演奏、鑑賞の担い手を育てる。</p> <p>(実施校からの声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は生の演奏を聴いて、体育館に響く音に感動しとても喜んでいました。 ・初めて弾かせてもらった弦楽器で音を出す体験をしたり、ミニ・オーケストラの指揮を体験したりした児童はとても感激していました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中の場合は、リハーサル時間が取れるようにしてほしい(相談します)。 ・20名程度での楽器体験を含むワークショップを1回、全校児童・生徒対象のミニオーケストラ演奏会1回を別々の日に開催できると良い(遠方の場合は、同日の午前・午後等での開催も可能) ・ミニオーケストラ演奏会では、児童・生徒の楽器や合唱での共演、指揮者コーナーへの出演を希望。 ・児童の器楽合奏や合唱との共演、指揮者コーナーへの児童出演を希望 ・司会進行や舞台設営準備については開催校と事前協議したい ・打楽器や譜面台など、学校の備品の借用をお願いする場合あり(可能であれば)
(成果発表) ワークショップの成果発表で公演を行う。	<p>①歌舞伎の始祖「出雲阿国」生誕、終焉の地に伝承される出雲歌舞伎を体験し、日本の伝統芸能の魅力を後世に伝承すると共に担い手を育成する。</p> <p>②歌舞伎の難解なイメージを払拭し、大衆娯楽から生まれた歌舞伎の持つ楽しさを体験する。</p> <p>③演劇を体験するのみでなく、礼儀作法、和服の着方、下駄、草鞋などの履き方等を学ぶ。</p> <p>④日頃の学校教育やスポーツなどでは発揮できない、自分の持つ隠れた可能性を発見できる。</p> <p>(実施校からの声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組んだ児童の表現力(言語面、音声面、身体表現面)が大きく向上した。児童、教職員ともに伝統芸能に触れる機会となり、伝統芸能への関心が増した姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団演技のため、事業実施期間中や、発表会直前の離脱がないよう、児童、保護者の事前理解が必要 ・学年ごとにまとまりを持ち、学校、担当教師が発表会に向け責任を持って対応する ・一連の学習発表会とは異なり、主役、脇役、端役で成り立つ伝統芸能であり、保護者等の要望による台詞の改定や、配役、出演時間の改定には応じられない
(成果発表) 益田市グラントワで開催予定	学校や世代の枠を超えて大人数での合唱を体験することで児童生徒に合唱の楽しさや素晴らしさを感じてもらう。生涯にわたって合唱を愛好する素地をつくり、合唱人口の確保と石見の合唱文化の継承を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・名称「新ネクスト・クワイア～石見の合唱を盛り上げよう～」 ・合唱部のない学校からの参加も募る
(成果発表) 演奏会を行う。	<p>①児童の楽器演奏力と合奏力の向上</p> <p>②これからの島根県の吹奏楽を担う人材の育成</p>	
	<p>①演奏技術力の向上</p> <p>②弦楽活動の継続意識の醸成</p> <p>③参加者相互の連帯感の醸成</p> <p>④県内の弦楽器・オーケストラ人口の増加</p>	
選抜作品を県展出品に推薦。	彫刻制作の実体験を通して彫刻の愛好者を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・2日間実施(2日間の日程で実技指導を行うが、1日のみの参加でも良い。) ・会場までの交通費・宿泊費は全額参加者負担
	舞台芸術専門家の指導を受けることにより、豊かな情操の育成と高校演劇の技術の向上普及を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・2日間の日程で講演・実技指導を行う(2日間通して参加できる方がよい)。 ・県高文連演劇専門部で各対応を行う。



令和8年度しまねの文化芸術体験事業 ＜文化芸術次世代育成支援事業＞



この事業は、予算の状況によって、事業の規模や内容に変更が生じる場合があります。
あらかじめご了承ください。

1 事業内容・目的

島根県文化団体連合会が県内の文化芸術団体を学校等に派遣し、児童・生徒等に(1)文化芸術の鑑賞機会の提供、(2)ワークショップ(実技指導・鑑賞指導等)を行うことにより、子どもたちの創造力やコミュニケーション力の向上を図り、将来の文化芸術の担い手の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげます。

2 派遣期間

令和8年6月1日から令和9年3月1日まで

3 申込と実施決定

(1)申込期限 令和8年2月27日(金)

(2)申込方法 右の二次元コードを読み取り、WEB申込フォームよりお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、文化国際課のホームページに掲載している申込書様式をご利用いただくか、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※申込受付状況は文化国際課のホームページで公開します。申込後、1週間経過してもホームページ上で確認できない場合はご連絡ください。



(3)実施決定 令和8年3月下旬～4月上旬

決定後、通知でお知らせします。

ご希望にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

4 費用負担等

- ・学校の費用負担(指導者の派遣にかかる謝金・旅費)はありません。
- ・事業実施後、学校から「実施確認書」を提出していただきます。

和太鼓



夢中になれるもの見つけた!

邦楽



初めての箏に挑戦

お申し込み・お問い合わせ

島根県文化国際課文化振興室 TEL0852-22-6464 FAX0852-22-6412

E-mail bunkashinko@pref.shimane.lg.jp

しまねの文化芸術体験事業

検索